

燃料タンク 残量遠隔監視システム

現 状

- 購入者からの依頼（電話等）による受動的な給油
→ 配送効率の低下
- 配送人員の確保が困難。（大型免許の他、危険物取扱など）
- 購入者が他の業者からも燃料を購入しているが、都度把握ができておらず顧客の困り込みができていない。

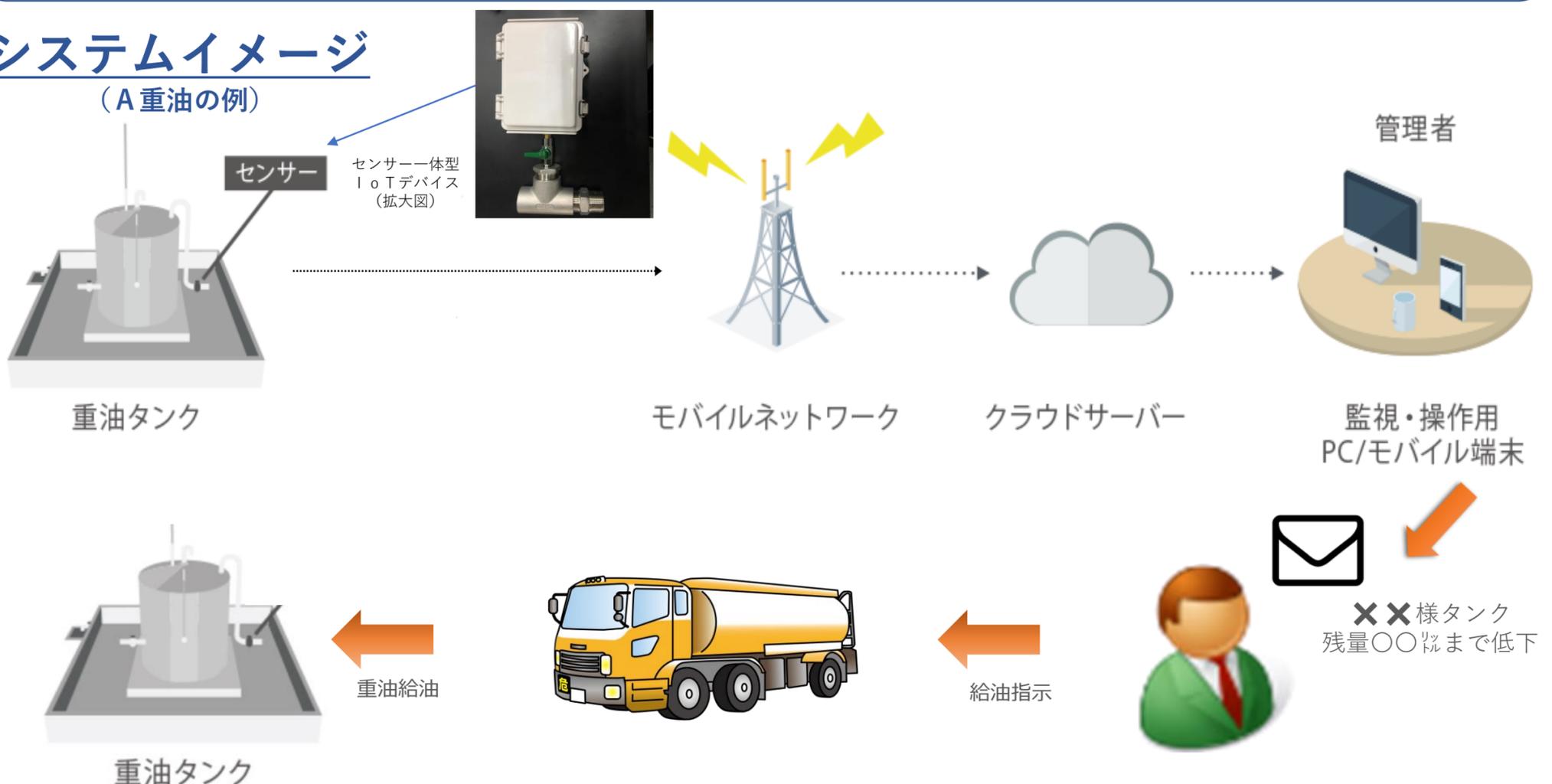
システムを導入すると

- タンク残量を把握できるため能動的な配送によるコスト削減
- タンクごとの使用頻度データを蓄積することで、配送担当者の経験に頼らず、効率的な配送ルートを策定。
- 配送に関する人件費（求人費含め）削減。
- 残量情報を一元的に把握することで、在庫調整ならびに重油価格の変動に合わせた購買が可能。

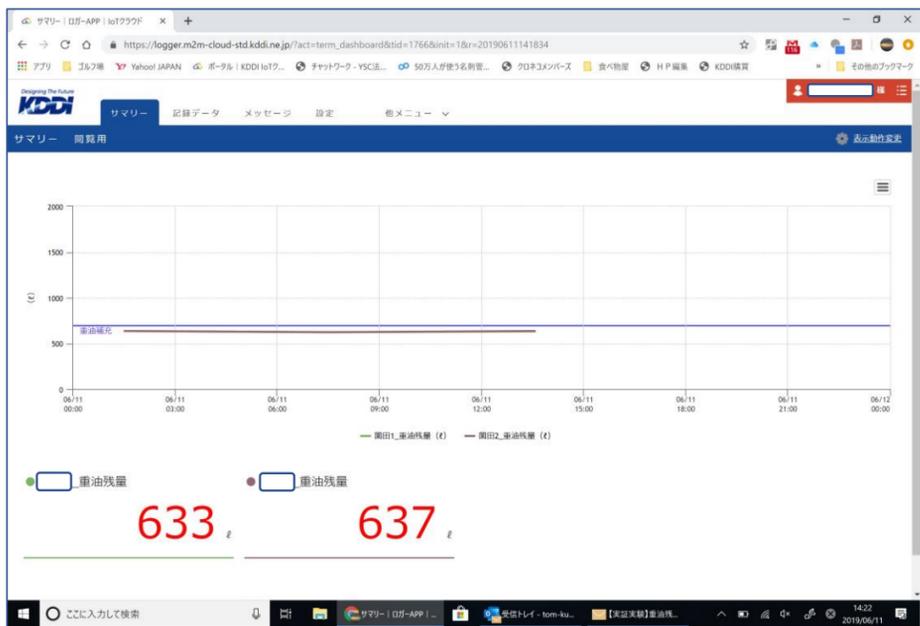
タンクに設置したセンサーにより、各タンクの残量確認ができ予め設定した閾値（下限残量）を下回った際に、指定されたメールアドレス（ご担当者様ほか）にメールでお知らせすることが可能です。

システムイメージ

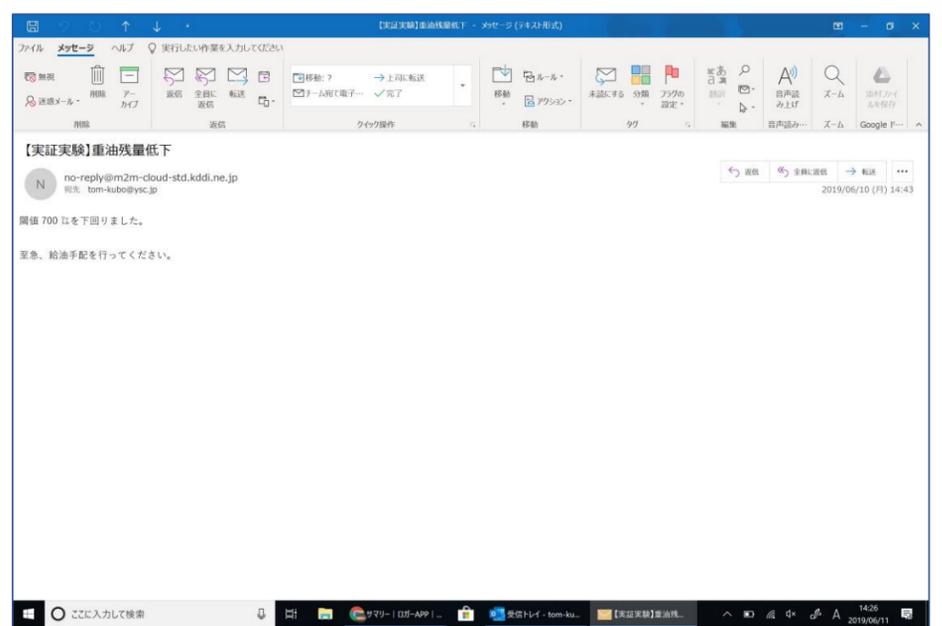
(A重油の例)



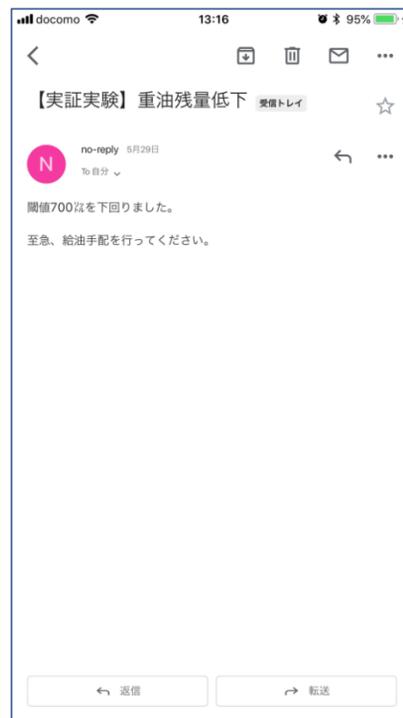
管理者画面及び閾値低下アラートメール (イメージ)



管理画面



アラートメール (PC)



アラートメール (スマートフォン)

設置事例

